

申1号 「盛岡地本第39回定期大会発言」及び 本日提出! 「各支部定期大会発言」に関する申し入れ

JR東労組盛岡地本は7月6日に「第39回定期大会」を開催、また各支部においても定期大会を開催しました。大会では、24春闘や夏季手当のたたかいを通じての組合員との議論を展開できた教訓、不祥事に対して仲間と組織を守るための議論と、組織強化・拡大の実践と教訓を共有し、さらに組織強化・拡大を実現していくことを確認しました。職場では各系統による表れ現象は違えど、要員不足が顕著に表れており、職場は少ない人数での運用を余儀なくされ疲弊しています。また「安全は経営のトッププライオリティ」という言葉だけが独り歩きし「安全よりも施策優先・コストダウン優先」となり、安全が阻害される事柄も発生しています。「融合と連携」という言葉を使えば何でもできると間違った認識のもと「何でもあり」の職場では、モチベーションは上がりず、その目的さえも薄れてしまいます。さまざまな施策において安全が担保され働きがいやモチベーションが向上する施策をめざし議論していかなければ、組合員はもとより社員の雇用と利益を守ることができません。

組合員の雇用確保を大前提に、安全と働きがい、技術継承・人材育成ができる職場を構築するために下記の通り申し入れを提出しました!

申し入れ項目

1. 「カスタマーハラスメント」に対する会社の考えを明らかにすること。また、考えに基づき職場での方針を示し、対策を講じること。
2. 2023年度に発生した保線系統のレール損傷事象や2024年7月3日と7月18日に発生した電力系統における汽笛吹鳴を受けた事象の原因と対策を明らかにすること。また、職場実態を把握し対策を講じること。
3. 軌道短絡時に運転再開指示を行う際は、現地を確認し安全が担保されるまで走行させないこと。
4. 各線区において沿線近接木による車側灯破損が発生していることから、計画的な伐採と、乗務員による申告にタイムリーに対応できるように体制を整えること。

組合員の声を基に申し入れ提出!
安全で働きがいのある職場をつくり出そう!

